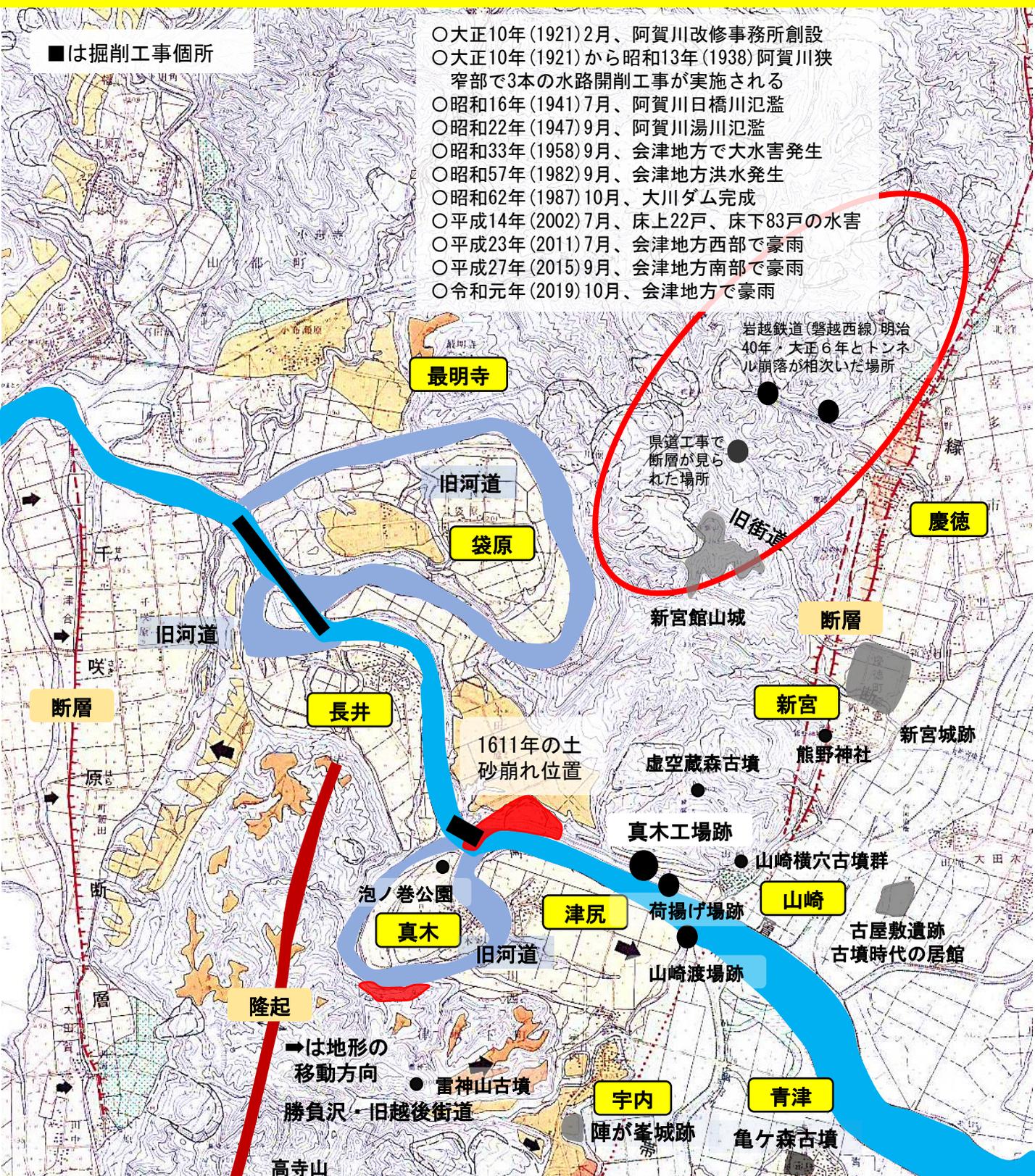


大正10年(1921)阿賀川狭窄部真木・袋原の工事開始

慶長16年(1611)8月21日の「慶長会津大地震」により、喜多方市慶徳町真木付近が競り上がり、さらに土砂崩れによって桧原湖より広い「山崎湖水(山崎新湖)」が誕生したこともあります。また、この付近は、福島県でも地殻変動が激しく隆起し続けているところで、大正10年(1921)から川底を下げる工事と水路を流れやすくする河川工事が進められています。



- 大正10年(1921)2月、阿賀川改修事務所創設
- 大正10年(1921)から昭和13年(1938)阿賀川狭窄部で3本の水路開削工事が実施される
- 昭和16年(1941)7月、阿賀川日橋川氾濫
- 昭和22年(1947)9月、阿賀川湯川氾濫
- 昭和33年(1958)9月、会津地方で大洪水発生
- 昭和57年(1982)9月、会津地方洪水発生
- 昭和62年(1987)10月、大川ダム完成
- 平成14年(2002)7月、床上22戸、床下83戸の水害
- 平成23年(2011)7月、会津地方西部で豪雨
- 平成27年(2015)9月、会津地方南部で豪雨
- 令和元年(2019)10月、会津地方で豪雨

■は掘削工事箇所

➡は地形の移動方向